

2020年度 全学共通科目 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
東田 充司	教授	追手門学院小学校 教諭・教頭および校長	教職概論	2	小学校での授業経験を生かした実践力、特に授業づくりに求められる指導力基礎の育成を主眼として授業を運営する。また、大阪府私立小学校連合会主催の初任者研修会を担当理事として運営指導した経験を活かし、教職入門に求められる指導項目に留意するとともに、具体的な基礎的授業技術を伝えていく。	
東田 充司	教授	追手門学院小学校 教諭・教頭および校長	道徳教育論	2	道徳教育の授業経験を生かした実践力、特に授業づくりに求められる指導力基礎の育成を主眼として授業を運営する。また、大阪府私立小学校連合会主催の初任者研修会を担当理事として運営指導した経験を活かし、指導者による模擬授業を随時行う中で、具体的な授業技術を伝えていく。	
大北 規句雄	非常勤講師	市役所勤務／公益法人人権協会理事 社会福祉法人理事長 まちづくりコンサルティング会社役員 地域福祉委員長など地域活動の経験多数	現代社会と人権	2	市役所勤務の実績をふまえ、日本社会にある様々な人権問題、とりわけコミュニティを基盤とした部落問題を主たるテーマに考察し、いま同和地区で取り組まれている「人権のまちづくり運動」から、最近の行政の大きなトレンドである「地域づくり」の諸問題について、「人権」を切り口に考察する。また、まちづくりコンサルタントとして、様々な地域のまちづくりに取り組み、地域における「排除・忌避」に向き合う様々な取り組みや、地域住民の取り組みについて紹介する。	
上林 功	准教授	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2016～ 一般社団法人運動会協会理事 2017～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベニュー研究会委員など	コミュニティスポーツ論	2	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、事例にそったスポーツビジネスにおける課題解決についてグループディスカッションをおこなう。	
辻 健司	非常勤講師	1977(昭和52)年度から2013(平成25)年度定年退職まで、京都市立中学校の教諭として勤務し、その後も再任用教諭や非常勤講師として、京都市内の中学校に勤務した。その間、各勤務校で、学級担任、学年主任、生徒指導主任、補導主任、進路指導主任、生徒会担当などを歴任した。	生徒指導論A	2	40年を超す現場経験において、中学生一人一人の思いや悩みに寄り添い、教職員間の合意形成や協同をはかりつつ、生徒指導・進路指導上の様々な問題解決にあたってきた。また、保護者や地域住民の教育要求を受けとめ、開かれた学校づくりを推進してきた。そうした経験を教材化し、学生の生徒観や生徒指導上の方法の習得に生かす。	
南谷 雄司	非常勤講師	経理専門学校(2年)・兵庫県立高等学校教諭(24年)・教頭(8年)・校長(2年)・医療福祉専門学校(1年)・短期大学(1年)・大学(1年)・コミュニティカレッジ(19年)・進路指導(職業指導13年)・商品開発(5品目)・ビジネスアイデア指導(5年)の勤務経験(全15回)	職業指導論	2	民間企業面接・教員採用試験面接対策・SDGS・ビジネスアイデアプラン作成・起業家教育・商品開発の方法・高校現場からの職業指導等	

南谷 雄司	非常勤講師	経理専門学校(2年)・兵庫県立高等学校教諭(24年)・教頭(8年)・校長(2年)・医療福祉専門学校(1年)・短期大学(1年)・大学(1年)・コミュニティカレッジ(19年)・進路指導(職業指導13年)・商品開発(5品目)・ビジネスアイデア指導(5年)の勤務経験(全15回)	現代の子どもと教育	2	民間企業面接・教員採用試験面接対策・SDGS・ビジネスアイデアプラン作成・起業家教育・商品開発の方法・高校現場からの職業指導等	
松宮 新吾	教授	高校教員	英語科教育論1	2	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	
松宮 新吾	教授	高校教員	英語科教育論2	2	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	
松宮 新吾	教授	高校教員	英語科教育研究1	2	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	
松宮 新吾	教授	高校教員	英語科教育研究2	2	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	
広瀬 依子	講師	1989年から2016年まで、総合芸能雑誌『上方芸能』の編集者として勤務。伝統芸能各分野の演者、技術者、制作者などに取材・執筆を多く行ってきた。	日本の伝統芸能	2	関西発の伝統芸能・現代の芸能を取り上げて紹介・分析する総合芸能雑誌編集部に勤務していた経験を活かし、伝統芸能各分野の歴史や発祥、特色を基本に授業を展開。現場の取材も多く行ってきたことから、演者や制作者の声から分析した現状や展望も取り入れ、日本の伝統文化を発信できる人材育成を目指している。(シラバス「その他」欄から引用)	
青木 哲哉	非常勤講師	遺跡の発掘調査における自然環境の調査指導	自然地理学	2	自然環境調査の指導経験を活かして、自然環境に係わる知識ならびに自然地理学の調査方法や分析方法について、基本から習得できるような授業を行う。	
藤本 史子	非常勤講師	都市遺跡の発掘調査に従事し、各地の中世都市遺跡の出土資料調査・研究を実施	考古学入門	2	発掘調査時の体験や、各都市遺跡の資料調査時の映像資料を授業で紹介し、実体験に基づいた内容を加える。	

2020年度 経営学部 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
池田 信寛	教授	企業や政府関連、商工会議所などの仕事を請け負ってコンサルティングを行っている。	マーケティング論基礎	2	具体的な事例を数多く取り入れて学生の理解を促進している。	
池田 信寛	教授	企業や政府関連、商工会議所などの仕事を請け負ってコンサルティングを行っている。	マーケティング論	2	具体的な事例を数多く取り入れて学生の理解を促進している。	
百嶋 計	教授	国家公務員(中央省庁)	ビジネス法学特殊講義	2	担当教員は、公務員時代に国税局長、税務署長という行政法学上の「行政庁」として、国という行政主体のために意思を決定し、それを自らの名において外部に表示する権限を有する極めて重要な行政機関としての実務経験を有している。したがって行政行為・行政調査をはじめとする行政活動に関し、その意思決定過程や手続に精通している。この実務経験を踏まえて、さまざまな行政活動・行政過程について法的な意義をわかりやすく講義するとともに、最近における実務上の課題についても講義することができる。また、この30年間における行政手続法や情報公開法の制定などの行政の変革について、実際の行政現場での経験を踏まえて講義する。さらに、内閣官房・内閣府において、諸改革の企画立案に携わった経験や独立行政法人経営の経験を踏まえて、行政組織、独立行政法人制度、行政改革、公務員制度改革等について、より実務に即した講義を行う。	
百嶋 計	教授	国家公務員(中央省庁)	行政法	2	担当教員は、公務員時代に国税局長、税務署長という行政法学上の「行政庁」として、国という行政主体のために意思を決定し、それを自らの名において外部に表示する権限を有する極めて重要な行政機関としての実務経験を有している。したがって行政行為・行政調査をはじめとする行政活動に関し、その意思決定過程や手続に精通している。この実務経験を踏まえて、さまざまな行政活動・行政過程について法的な意義をわかりやすく講義するとともに、最近における実務上の課題についても講義することができる。また、この30年間における行政手続法や情報公開法の制定などの行政の変革について、実際の行政現場での経験を踏まえて講義する。	
山下 克之	教授	約20年の企業勤務経験。その間に財務、経営企画、会計、人事領域の実務に携わってきた。具体的には、IR、IPO、M&A、資本市場からの資金調達、銀行からの資金借入など。	会計学特殊講義(国際会計)	2	実務経験を活かし、学問的見地のみならず、実務的な観点から解説をする。	
山下 克之	教授	約20年の企業勤務経験。その間に財務、経営企画、会計、人事領域の実務に携わってきた。具体的には、IR、IPO、M&A、資本市場からの資金調達、銀行からの資金借入など。	国際会計論	2	上記の実務経験を活かし、講義内で取り上げる決算書作成プロセスについて学問的見地のみならず、実務的な観点から解説をする。	

山下 克之	教授	約20年の企業勤務経験。その間に財務、経営企画、会計、人事領域の実務に携わってきた。具体的には、IR、IPO、M&A、資本市場からの資金調達、銀行からの資金借入など。	財務諸表論1	2	上記の実務経験を活かし、講義内で取り上げる決算書作成プロセスについて学問的見地のみならず、実務的な観点から解説をする。	
山下 克之	教授	約20年の企業勤務経験。その間に財務、経営企画、会計、人事領域の実務に携わってきた。具体的には、IR、IPO、M&A、資本市場からの資金調達、銀行からの資金借入など。	財務諸表論2	2	上記の実務経験を活かし、講義内で取り上げる決算書作成プロセスについて学問的見地のみならず、実務的な観点から解説をする。	
石井 竜馬	准教授	大手総合商社勤務及び上場企業役員	ベンチャー経営論	2	教員の総合商社での実務経験による、輸出入、ブランド・ライセンス、実務英語、異文化コミュニケーション、マーケティング、生産管理、資材調達、顧客対応、外国為替、管理会計、財務会計、人材管理、などのビジネスノウハウを授業のトピックやケーススタディーとして取り扱いながら学ぶ。ファイナンス、ビジネスプランニング、コンサルティング実務、経営管理、成長戦略は教員の現在までに至る実務経験を学習に生かす。	
石井 竜馬	准教授	大手総合商社勤務及び上場企業役員	経営戦略論	2	教員の総合商社での実務経験による、輸出入、ブランド・ライセンス、実務英語、異文化コミュニケーション、マーケティング、生産管理、資材調達、顧客対応、外国為替、管理会計、財務会計、人材管理、などのビジネスノウハウを授業のトピックやケーススタディーとして取り扱いながら学ぶ。ファイナンス、ビジネスプランニング、コンサルティング実務、経営管理、成長戦略は教員の現在までに至る実務経験を学習に生かす。	
石井 竜馬	准教授	大手総合商社勤務及び上場企業役員	経営戦略論1	2	教員の総合商社での実務経験による、輸出入、ブランド・ライセンス、実務英語、異文化コミュニケーション、マーケティング、生産管理、資材調達、顧客対応、外国為替、管理会計、財務会計、人材管理、などのビジネスノウハウを授業のトピックやケーススタディーとして取り扱いながら学ぶ。ファイナンス、ビジネスプランニング、コンサルティング実務、経営管理、成長戦略は教員の現在までに至る実務経験を学修に生かす。	
石井 竜馬	准教授	大手総合商社勤務及び上場企業役員	経営戦略論2	2	教員の総合商社での実務経験による、輸出入、ブランド・ライセンス、実務英語、異文化コミュニケーション、マーケティング、生産管理、資材調達、顧客対応、外国為替、管理会計、財務会計、人材管理、などのビジネスノウハウを授業のトピックやケーススタディーとして取り扱いながら学ぶ。ファイナンス、ビジネスプランニング、コンサルティング実務、経営管理、成長戦略は教員の現在までに至る実務経験を学習に生かす。	
石井 竜馬	准教授	大手総合商社勤務及び上場企業役員	中小企業経営論1	2	教員の総合商社での実務経験による、輸出入、ブランド・ライセンス、実務英語、異文化コミュニケーション、マーケティング、生産管理、資材調達、顧客対応、外国為替、管理会計、財務会計、人材管理、などのビジネスノウハウを授業のトピックやケーススタディーとして取り扱いながら学ぶ。ファイナンス、ビジネスプランニング、コンサルティング実務、経営管理、成長戦略は教員の現在までに至る実務経験を学習に生かす。	
石井 竜馬	准教授	大手総合商社勤務及び上場企業役員	中小企業経営論2	2	教員の総合商社での実務経験による、輸出入、ブランド・ライセンス、実務英語、異文化コミュニケーション、マーケティング、生産管理、資材調達、顧客対応、外国為替、管理会計、財務会計、人材管理、などのビジネスノウハウを授業のトピックやケーススタディーとして取り扱いながら学ぶ。ファイナンス、ビジネスプランニング、コンサルティング実務、経営管理、成長戦略は教員の現在までに至る実務経験を学習に生かす。	

和田 充弘	客員教授	テレビニュースの取材。ドキュメンタリー番組の制作。海外特派員。テレビ制作局の部長としてコンプライアンスに関する諸問題に対応。アナウンサー室長としてアナウンサーの採用、育成、マネジメントなどに携わる。	ビジネスコミュニケーション1	2	・修飾語、句読点の打ち方、文章の体裁など文章作成の基礎を学ぶ。 ・テレビニュースを実際に作る。 ・現役アナウンサー(ゲスト講師として招聘予定)によるテーマトークの指導。 ・ドキュメンタリー番組の視聴などを通して、コミュニケーションの土台となるさまざまな表現を分析し、解説する。	
和田 充弘	客員教授	テレビニュースの取材。ドキュメンタリー番組の制作。海外特派員。テレビ制作局の部長としてコンプライアンスに関する諸問題に対応。アナウンサー室長としてアナウンサーの採用、育成、マネジメントなどに携わる。	ビジネスコミュニケーション2	2	テレビニュース、ドキュメンタリーの取材。海外特派員としてアジア、オセアニア、中東の20の国と地域の人間と文化に接した経験を授業に反映する。コンプライアンスに関するの諸問題を実例を元に解説。	
井戸田 博樹	非常勤講師	企業で情報システムの開発、運用業務に従事していた経験があります。また、現在も実務家の方々との研究会に参加しています。	インターネットビジネス論1	2	学術研究で得た知見を皆さんに分かりやすく解説するために、実務経験で得た知識や事例を織り交ぜながら講義します。	
井戸田 博樹	非常勤講師	企業で情報システムの開発、運用業務に従事していた経験があります。また、現在も実務家の方々との研究会に参加しています。	インターネットビジネス論2	2	学術研究で得た知見を皆さんに分かりやすく解説するために、実務経験で得た知識や事例を織り交ぜながら講義します。	
太田 雅晴	非常勤講師	企業の経営診断(政府系診断団体)、経営支援業務、各種国家試験業務	情報と職業	2	企業の中でどのように情報が使われているか、使ったら良いか、に精通していることから、それらの経験に即した内容とする。	
劉 宏成	非常勤講師	経営コンサルティングにおいて、25年間の経営コンサルタントとしての企業診断全般の実務経験がある。その経験を活かし、実践的な授業を行なう。	リスク・マネジメント論1	2	25年に及ぶ経営コンサルタントとしての実務経験を様々の形で活用してケーススタディーなどの実践的な授業を行なう。	
劉 宏成	非常勤講師	経営コンサルティングにおいて、25年間の経営コンサルタントとしての企業診断全般の実務経験がある。その経験を活かし、実践的な授業を行なう。	リスク・マネジメント論2	2	25年に及ぶ経営コンサルタントとしての実務経験を様々の形で活用してケーススタディーなどの実践的な授業を行なう。	
劉 宏成	非常勤講師	経営コンサルティングにおいて、25年間の経営コンサルタントとしての企業診断全般の実務経験がある。その経験を活かし、実践的な授業を行なう。	経営史1	2	25年に及ぶ経営コンサルタントとしての実務経験を様々の形で活用してケーススタディーなどの実践的な授業を行なう。	

劉 宏成	非常勤講師	経営コンサルティングにおいて、25年間の経営コンサルタントとしての企業診断全般の実務経験がある。その経験を活かし、実践的な授業を行なう。	経営史2	2	25年に及ぶ経営コンサルタントとしての実務経験を様々な形で活用してケーススタディーなどの実践的な授業を行なう。	
------	-------	--	------	---	---	--

2020年度 国際教養学部 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
松宮 新吾	教授	高校教員	国際リーダーシップ論	2	JETプログラムやNETプログラムをはじめとする多文化グループをマネジメントし、外国語教育の拡充や推進を行ってきた経験と実績から、多文化マネジメントや異文化間コミュニケーションに関わる実践的スキルを教授することができる。	
蛭田 勲	教授	高校教員	市民活動と国際貢献	2	これまでの行政や教育分野での経験を生かし、SDGsをキーワードに、開発途上国や紛争地の状況を我が事として捉え、一人の人間としてどのような国際協力や国際貢献ができるかを考え、実際に行動に移せるような能力や態度を育成する内容としている。	
湯浅 俊彦	教授	書店	図書館・デジタルアーカイブ活用法	2	図書館とデジタルアーカイブを活用する実践的授業を行う。	
高垣 伸博	教授	放送局	世界のユーモアと日本の笑い	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
高垣 伸博	教授	放送局	笑いコミュニケーション	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
高垣 伸博	教授	放送局	漫才の世界	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
高垣 伸博	教授	放送局	笑いをマネジメントする	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
広瀬 依子	講師	出版社	狂言の世界	2	現場を取材して得た演者、制作者、技術者などの生の声をもとに、表現方法、演出、作品の解釈などを取り入れていく。	
広瀬 依子	講師	出版社	人形浄瑠璃文楽の世界	2	現場を取材して得た技芸員の生の声、表現方法、演出、作品の解釈などを取り入れていく。	
泉 美智子	非常勤講師	高校教員	書道1	2	硬筆、毛筆実技指導 書の知識の伝授。	
泉 美智子	非常勤講師	高校教員	書道2	2	硬筆毛筆実技指導 書の知識の伝授。	
木村 未来	非常勤講師	新聞社	日本の伝統文化を発信する	2	新聞や、これをもとにした資料などを使って、日本の文化の状況や潮流に目を向け、ゆかりの地を実際に歩いて調査することで学びを深めて、その魅力を他者に分かりやすい言葉、表現で発信する力を身に付けていく。	

2020年度 経済学科 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
櫻庭 千尋	教授	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。	日本経済論1	2	日本における経済政策の効果について、日本銀行での職務を通じて培った学識を活かし、実証分析に基づく教材を提供して、経済運営の本質を衝いた説明を提供します。また、日米構造協議やG20協議に参画した経験を踏まえて、日本経済に対する諸外国の評価を交えることで、政策論議の客観性を担保します。	
櫻庭 千尋	教授	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。	日本経済論2	2	日本における経済政策の効果について、日本銀行での職務を通じて培った学識を活かし、実証分析に基づく教材を提供して、経済運営の本質を衝いた説明を提供します。また、日米構造協議やG20協議に参画した経験を踏まえて、日本の経済政策に対する諸外国の評価を交えることで、政策論議の客観性を担保します。	
櫻庭 千尋	教授	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。その間、国際復興開発銀行(BIS)のアービング・フィッシャー中央銀行統計委員会副議長を兼務し、シャドーバンキングなどに関する情報不備(data gap)課題への国際協調体制構築に従事した。	金融ビジネス論1	2	1980年代の資産バブル、1990年代の不良債権処理、1997年以降の東アジア通貨危機、2007年以降の欧米金融危機に関わった知見を基に、金融機関と企業の現場での意思決定過程の実像を、履修者に提供します。これにより、個別事案における当事者間の情報ギャップ、経営内部と金融市場の間の情報の非対称性という金融の本質を、具体的に教授します。	
櫻庭 千尋	教授	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。その間、国際復興開発銀行(BIS)のアービング・フィッシャー中央銀行統計委員会副議長を兼務し、シャドーバンキングなどに関する情報不備(data gap)課題への国際協調体制構築に従事した。	金融ビジネス論2	2	1980年代の資産バブル、1990年代の不良債権処理、1997年以降の東アジア通貨危機、2007年以降の欧米金融危機に関わった知見を基に、金融機関と企業の現場での意思決定過程の実像を、履修者に提供します。これにより、個別事案における当事者間の情報ギャップ、経営内部と金融市場の間の情報の非対称性という金融の本質を、具体的に教授します。	
櫻庭 千尋	教授	日本銀行において30年余りにわたり、内外経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。	国際経済学[火3_火4]	4	国際経済について、日本銀行での国際職務を通じて培った学識を活かし、実証分析に基づく教材を提供して、経済の本質を衝いた学問を提供します。また、日米構造協議やG20協議に参画した経験を踏まえて、日本経済に対する諸外国の評価を交えることで、政策論議の客観性を担保します。	
木下 智博	教授	日本銀行に34年間勤務	金融論[月4_火4]	4	日本銀行で従事した、経済の調査分析、金融システムや決済システムの企画運営、内外当局との交渉の経験を活かし、中央銀行や政府の政策運営手法について具体的な事例を紹介しながら解説する。	
木下 智博	教授	日本銀行に34年間勤務、うち6年間米国駐在	アメリカ経済論	2	日本銀行で従事した、米国経済・金融の調査分析、米国当局との交渉の実務経験を活かし、米国経済の実態やダイナミックな変化について具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
近藤 伸二	教授	大手新聞社の大阪経済部記者、大阪経済部長、香港支局長、台北支局長、論説委員などとして、日本やアジアの経済取材した。	リーダーシップ論	2	実際に日本やアジアの企業や経営者を取材した体験に基づいて具体的に説明するほか、新聞も教材とし、記事の狙いや背景を解説することで、学生が経済におけるリーダーシップを身近に感じ、関心を持って理解を深めるようにする。	
近藤 伸二	教授	大手新聞社の大阪経済部記者、大阪経済部長、関西在勤論説委員などとして、関西経済を取材した。	関西経済論1	2	実際に取材した関西企業の特徴やインタビューした経営者の理念などを体験に基づいて具体的に説明するほか、新聞も教材とし、記事の狙いや背景を解説することで、学生が関西経済を身近に感じ、関心を持って理解を深めるようにする。	

近藤 伸二	教授	大手新聞社の経済部記者、大阪経済部長、香港支局長、台北支局長、論説委員などとして、アジア経済取材した。	アジア経済論	2	実際にアジア各国の経済やアジア企業を取材した経験に基づいて具体的に説明するほか、新聞も教材とし、記事の狙いや背景を解説することで、学生がアジア経済を身近に感じ、関心を持って理解を深めるようにする。	
佐藤 伸行	教授	通信社記者。ドイツ、オーストリア、米国に駐在。国際報道に従事。	国際ビジネスコミュニケーション	2	長年、海外駐在記者として国際政治・経済・社会を取材してきた経験を活かし、具体的な事例を紹介しつつ、実践的な授業を行う。授業担当者が経験してきた異文化との接触を詳しく紹介することで、異質なビジネス慣行や諸外国のメンタリティーを学ぶことができる。	
佐藤 伸行	教授	通信社記者としてドイツ、オーストリア、米国に駐在し、ざっと30年にわたって国際報道に従事した。	政治学概論1	2	長年、通信社記者として海外の政治、経済、社会を取材してきた経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら進める実践的授業である。	
佐藤 伸行	教授	30年間、通信社記者を務め、ドイツ、オーストリア、アメリカに駐在し、国際報道に携わった。	政治学概論2	2	上記実務経験で得られた知見や見聞を多く授業内に取り入れ、国際政治の知識の肉付けを充実させる実践的な授業を行う。	
藤好 陽太郎	教授	大手新聞社で記者、特派員経験。日銀や財務省、経済産業省、大手銀行、電機メーカーなどを担当したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材。	ビジネス・エコノミクス	2	多様な分野での取材・編集経験を活かし、現場で取材したことや写真などを使いながら講義を行う。	
藤好 陽太郎	教授	大手新聞社で記者、特派員経験。日銀・財務省、メガバンクなどを担当したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材。	関西経済論2	2	日銀・財務省、メガバンク、経産省、電機メーカーなどを担当したほか、ロンドン特派員を担当。多様な分野での取材・編集の経験を活かし、現場での取材や写真を使ったり具体的な事例を紹介したりしながら講義を行う。	
藤好 陽太郎	教授	大手新聞社で記者、特派員経験。日銀や財務省、経済産業省、大手銀行、電機メーカーなどを担当したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材。	中小企業論	2	多様な分野での取材・編集経験を活かし、現場で取材したことや写真などを使うほか、世界で活躍する中小企業の具体例などを紹介しながら講義を行う	
藤好 陽太郎	教授	大手新聞社で記者、特派員経験。日銀や財務省、経済産業省、大手銀行、電機メーカーなどを担当したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材。	ヨーロッパ経済論	2	現場で取材したことや写真などを使うほか、具体的な事例を紹介しながら講義を行う。多様な分野での取材・編集の経験を活かし、例えば自動車産業ではドイツメーカーの特徴など具体的な事例を紹介しながら講義する。	
長町 理恵子	准教授	シンクタンク(日本経済研究センター)の研究員	男女共同参画社会論	2	経済統計を用いた経済予測、景気分析、労働関連(特に女性労働、保育等)の分野での研究やセミナー開催の経験を活かし、経済データや市場調査の重要性の理解が深まるよう、起業や企業の事例を紹介しながら講義を行う。	
長町 理恵子	准教授	シンクタンク(日本経済研究センター)の研究員	女性起業論	2	経済統計を用いた経済予測、景気分析、労働関連(特に女性労働、保育等)の分野での研究やセミナー開催の経験を活かし、経済データや市場調査の重要性の理解が深まるよう、起業や企業の事例を紹介しながら講義を行う。	
松田 年弘	准教授	エネルギー関連企業で勤務。	地球環境論1	2	エネルギー関連企業での勤務経験を活かし、エネルギーの利用が地球温暖化や大気汚染という地球環境問題に影響を及ぼすことを紹介しながら講義を行う。	

松田 年弘	准教授	エネルギー関連企業で勤務。	地球環境論2	2	エネルギー関連企業での勤務経験を活かし、エネルギーの利用が地球温暖化や大気汚染という地球環境問題に影響を及ぼすことを紹介しながら講義を行う。	
何 彦旻	講師	コンサルティングファームでの海外投資コンサルタント業務、産官学連携研究業務	環境経済学1	2	コンサルティングの経験を活かし、企業の環境経営活動やアジア諸国の環境政策などについて具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
何 彦旻	講師	コンサルティングファームでのコンサルタント	環境経済学2	2	コンサルティングの経験を活かし、企業の環境経営活動やアジア諸国の環境政策などについて具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	

2020年度 地域創造学科 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
井上 典子	教授	文部科学技官(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)として国際的な共同研究事業を実施しました。また、法改正や運用だけでなく、各府省や地方自治体職員等、企業や住民の方々と協働で地域的課題の解決に取り組んできました。	都市政策論	2	都市政策の現状と課題について実践的な検討を行うことができます。特に住民参加や都市環境問題について、国内外の事例を通じて具体的な思考を進めることができます。また、国際的な視点による比較等を行い、法制面における日本の現状と今後の展開を想定しながら、都市と生活の深いかかわりについて考えることができます。	
井上 典子	教授	文部科学技官(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)として国際的な共同研究事業を実施しました。また、法改正や運用だけでなく、各府省や地方自治体職員等、企業や住民の方々と協働で景観保全事業等を通じた地域的課題の解決に取り組んできました。	景観保全論	2	景観創造活動の現状と課題について実践的な検討を行うことができます。特に景観保全形成分野における住民参加や環境問題について、国内外の事例を通じて具体的な思考を進めることができます。また、国際的な視点による比較等を行い、法制面における日本の現状と今後の展開を想定しながら、地域と景観の深いかかわりについて考えることができます。	
井上 典子	教授	文部科学技官(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)として国際的な共同研究事業を実施しました。また、法改正や運用だけでなく、各府省や地方自治体職員等、企業や住民の方々と協働で文化活動を通じた地域的課題の解決に取り組んできました。	文化行政論	2	授業では、地方自治体等が進める文化資源を用いた地域づくりに関する事例を学習することができます。また、国内外の事例を用いて具体的な思考を進めることができます。国際的な視点から法令等に関する比較等を行い、日本の現状と今後の展開を想定しながら、地域と文化との深いかかわりについて考えることができます。	
井上 典子	教授	文部科学技官(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)として国際的な共同研究事業を実施しました。また、法改正や運用だけでなく、各府省や地方自治体職員等、企業や住民の方々と協働で地域的課題の解決に取り組んできました。	農村計画論	2	授業では、都市近郊農地や中山間地域の現状と課題について実践的な検討を行うことができます。特に中山間地域が自治に基づいて取り組む様々な活動について国内外の事例を用いて具体的な思考を進めることができます。また、国際的な視点から比較等を行い、日本の現状と今後の展開を想定しながら、地域と農業との深いかかわりについて考えることができます。	
菅原 達也	教授	JTBで18年の実務経験があり、観光に関して多方面から実務経験を有している。 又2017年～2019年にかけて、静岡県浜松市内の奥浜名湖商工会、新潟県村上市、燕三条市、及び和歌山県いなべ町等で地域振興事業のコーディネーターを担っており、地域住民と共に観光における事業の指導・支援を行っていた。	観光交通論	2	1. 旅行会社と交通機関の関係は単なる旅行会社のパッケージ旅行のツアーの主催者とサプライヤーとの関係にとどまらない関係を維持し続けている。その関係性においても年々変化している そのような状況を実務の経験の中で事例を取り上げて解説する。 2. 現状の地域創生の場合、2次交通の問題は多くの地域で課題としてあげられている。 その課題と解決策を実務の実例で紹介する	

菅原 達也	教授	JTBで18年の実務経験があり、観光に関して多方面から実務経験を有している。 又2017年～2019年にかけて、静岡県浜松市内の奥浜名湖商工会、新潟県村上市、燕三条市、及び和歌山県いなべ町等で地域振興事業のコーディネーターを担っており、地域住民と共に観光における事業の指導・支援を行っていた。	サスティナブルツーリズム論	2	1. 今まで集客を中心に旅行会社が存在していた。旅行には多くの観光資源が必要であるが、観光資源は有限である事を理解する必要がある。フィールドワークの中で体験・経験し、事例研究のなかから議論を深めていく。このフィールドワーク及び事例研究には過去の実務の経験を通して解説する。 2. 現状の地域創生の場合も同様であり、有限である地域資源の活用の仕方。環境保全考えた着地型観光を事例をあげて解説する。	
菅原 達也	教授	JTBで18年の実務経験があり、観光に関して多方面から実務経験を有している。 又2017年～2019年にかけて、静岡県浜松市内の奥浜名湖商工会、新潟県村上市、燕三条市、及び和歌山県いなべ町等で地域振興事業のコーディネーターを担っており、地域住民と共に観光における事業の指導・支援を行っていた。	観光社会学	2	1. 旅行会社在职中、(1)観光者の類型、(2)観光地のホスト・ゲスト関係、(3)観光の社会的・文化的影響、(4)国際観光とマス・ツーリズム、というテーマを実務経験の中で経験してきた。その実務経験が過去、現在、将来とどのように変化、推移し、観光の社会の在り方、位置づけを考察する。 2. 観光によるまちづくりの場合も同様に多くの経験、実績を基に課題とその対応を実務経験の実績から事例として考察していく。	
田中 正人	教授	都市計画コンサルタントとして、都市計画マスタープラン等の上位計画の策定、住民参加型まちづくりの技術援助に従事。	地域開発論	2	地域開発の射程と歴史、現代的課題、地域づくりの論点などについて、担当教員がプランナーとして参画してきた密集市街地の改善、歴史的市街地の保全、郊外住宅地の再生といったプロジェクトについて、具体的な事例を紹介しながら解説を行う。	
田中 正人	教授	都市計画コンサルタントとして、都市計画マスタープラン等の上位計画の策定、住民参加型まちづくりの技術援助に従事。	都市デザイン論	2	担当教員が実践してきた空間計画・環境デザインの経験を活かし、中心市街地、密集市街地、歴史的市街地、郊外住宅地、被災市街地など、さまざまな都市の具体事例を参照しながら、その歴史的背景と問題点、デザイン手法の課題と可能性について理解するための授業。	
泊 吉実	教授	新聞記者(34年)	情報文化論	2	暮らしや経済、事件・事故、司法、行政、福祉、社会問題など多様な分野の取材・編集の経験をもつ授業担当者が、大阪教育大付属池田小事件やJR福知山線脱線事故、東日本大震災後の電力危機などの取材を指揮した実務経験を活かし、メディアがどんな考えのもとに、どんな手法で情報を収集・編集し、どう発信するのか、具体的な事例を素材に、メディアの実態とメディアを取り巻く環境の変化を考察する。	

泊 吉実	教授	新聞記者(34年間)	地域メディア論	2	暮らしや経済、事件・事故、司法、行政、福祉問題など多様な分野の取材・編集の経験を生かし、新聞を使ったドリルを実施。毎回、新聞記事のスクラップ作成の課題を出し、記事の要点とその記事を選んだ理由を記述してもらう。記事のニュース性について説得力をもって説明できているかどうかをポイントとし、授業に持ち寄り、小グループで発表し合う。スクラップは授業終了時に提出してもらい、評価したうえでコメントを添えて返却する。	
藤原 直樹	准教授	行政職地方公務員	地方行政論	2	地方行政が果たす公的な役割について、担当教員の地方自治体における住民対応や議会調整、他の自治体との連携や国(中央政府)との連絡調整といった実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら解説を行う。	
藤原 直樹	准教授	行政職地方公務員	自治体政策論	2	近年、地域特性を生かした地域・自治体づくりが求められ、先進的な実践事例が注目されている。この授業では、自治体政策の内容とその執行について、担当教員のまちづくりや特区における事業開発、政策形成に向けた資料作成や予算要求、政策評価といった実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら解説を行う。	
藤原 直樹	准教授	行政職地方公務員	地方公務員論	2	地方公務員の仕事や役割について、担当教員の地方自治体における政策形成・事業実施のための意思決定、採用・人事異動・研修、人事評価・成果評価、議会との調整、法令遵守の確保といった実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら解説を行う。	
安本 宗春	講師	旅行会社勤務	観光産業論	2	担当教員が旅行会社における実務経験(旅行商品の企画・造成、営業、等)を活かし、観光産業における多様な展開について具体的な事例の紹介を行う。	
安本 宗春	講師	旅行会社勤務	観光マーケティング論	2	旅行会社における旅行商品の企画・造成、販売といった実務経験を活かし、マーケティングの基礎的な理論を踏まえて実践的な事例の紹介を行う。	

2020年度 社会学科 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
有山 篤利	教授	①京都府の女子柔道の強化指定コーチとして、京都チームを国体優勝に導くなど、トップアスリートの育成に関わってきた。 ②京都府教育委員会保健体育科指導主事として、子どもの体力向上や総合型地域スポーツクラブの設置など京都府体育・スポーツの推進に関わってきた。 ③武道を中心にスポーツ文化に関する論文発表や学会発表・講演等を多数行ってきた。 ④高校保健体育科教諭として運動部活動の顧問を経験し、全国レベルの選手を育成した。	スポーツ文化論	2	コーチ・教員としての指導現場、スポーツにかかわる行政、研究的立場などの幅広いスポーツ経験を活かし、偏りのない幅広い視点や多様な側面からスポーツ文化をとらえた学修内容を提供する。	
有山 篤利	教授	①京都府教育委員会保健体育科指導主事として、子どもの体力向上や総合型地域スポーツクラブの設置など京都府体育・スポーツの推進に関わってきた。 ②教科体育や運動部活動を中心に論文発表や学会発表・講演等を多数行ってきた。 ③高校保健体育科教諭として体育授業及び運動部活動の指導を行ってきた。 ④大学の教員養成課程において、小・中・高等学校の保健体育科の教員養成に関わってきた。	スポーツ教育学	2	保健体育科の教員養成や現場経験、スポーツにかかわる行政経験などを活かし、概念や抽象論にとどまらない実践的な学修内容を提供する。	
上林 功	准教授	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2016～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベンチャー研究会委員など	スポーツマーケティング論	2	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、事例にそったスポーツビジネスにおける課題解決について対話形式による議論をおこなう。	
上林 功	准教授	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2017～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベンチャー研究会委員など	産業社会学	2	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、事例にそったビジネスにおける課題解決についてグループディスカッションをおこなう。	
上田 滋夢	教授	国内・海外プロサッカークラブや代表チーム(協会)のマネジメント職、監督、コーチ	スポーツ戦略論	2	国内・海外プロスポーツクラブの指導者やクラブマネジメント責任者などの経験を通じて得た、具体的な事例を紹介しながら本講座を構成していく。	
松山 博明	教授	国内プロサッカー選手・監督、ナショナルチーム監督	スポーツ心理学	2	心理学的基礎、スキルの獲得に関する運動学習、スポーツと健康、スポーツに関わる様々な問題等、広範囲にアスリートに纏わる心理的現象を取り上げ、プロサッカー選手、監督などの実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら講義をおこなう。	
松山 博明	教授	国内プロサッカー選手・監督、ナショナルチーム監督	コーチング特論1	2	スポーツリーダーとしての指導論やコーチング法など、プロサッカーチームの監督などのスキルや経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら講義および実践的な演習をおこなう。	

横田 修	准教授	劇団青年団所属 俳優として「東京ノート」「火宅か修羅か」に出演 演出として若手自主企画「お茶と説教」を演出 有限会社アゴラ企画・こまばアゴラ劇場にて勤務 劇団タテヨコ企画旗揚げ(現在に至る)	コミュニケーション・表現演習2	2	横田:演劇ワークショップ 岡元:発展的な実作(振付・演出)を通じて、コミュニケーションや表現のさらなる可能性を知る。	
横田 修	准教授	劇団青年団所属 俳優として「東京ノート」「火宅か修羅か」に出演 演出として若手自主企画「お茶と説教」を演出 有限会社アゴラ企画・こまばアゴラ劇場にて勤務 劇団タテヨコ企画旗揚げ(現在に至る)	演劇・ダンス演習	2	演劇ワークショップ	
横田 修	准教授	劇団青年団所属 俳優として「東京ノート」「火宅か修羅か」に出演 演出として若手自主企画「お茶と説教」を演出 有限会社アゴラ企画・こまばアゴラ劇場にて勤務 劇団タテヨコ企画旗揚げ(現在に至る)	コミュニケーション・表現入門演習2	2	演劇ワークショップ	
岡元 ひかる	非常勤講師	ダンスや演劇など、上演芸術に関する出演・企画・運営(パフォーマー・プロデューサー)	コミュニケーション・表現入門演習1	2	教員が学生と一緒に身体を動かしながら、授業を進める。	

2020年度 心理学科 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
永野 浩二	教授	せりかわ医院等における臨床心理士業務、中学校におけるスクールカウンセラー業務 等	介護心理学	2	担当者は、長年に渡る病院、中学校、青少年センターの相談員、カウンセラー等として、臨床現場での治療者、担当者としての経験に基づく事例研究、心理療法における経験を通して体得した研修方法あるいは実習法等現場での経験を生かして、カウンセリングの態度や技法について体験学習の解説を行う。	
永野 浩二	教授	せりかわ医院等における臨床心理士業務、中学校におけるスクールカウンセラー業務 等	心理療法演習2	2	担当者は、長年に渡る病院、中学校、青少年センターの相談員、カウンセラー等として、臨床現場での治療者、担当者としての経験に基づく事例研究、心理療法における経験を通して体得した研修方法あるいは実習法等現場での経験を生かして、カウンセリングの態度や技法について体験学習の解説を行う。	
益田 啓裕	講師	児童心理治療施設や児童福祉施設におけるカウンセリング業務	福祉心理学	2	担当者は、臨床心理士、公認心理師の資格を有し、これまで児童心理治療施設や児童福祉施設等、種々の臨床現場において、遊戯療法を用いたカウンセリングや、入所児童への心理教育、生活支援等といった多くの支援を行ってきました。そういった実践経験および研究活動を活かし、社会福祉学や臨床心理学など様々な心理学の知見から、幅広い世代の福祉と心理的支援について解説します。	
溝部 宏二	教授	恵愛会福間病院における医師業務 等	人体の構造と機能及び疾病	2	担当者は、大学医学部において医師免許を取得、卒業後に医学部研究科生を経て、医学博士号を取得、修了した。その後、医学部学生への教育に就き、研修医へのスーパービジョンにも取り組んだ。また、臨床心理学部大学院生への実習指導等の実務もこなし、10年以上に渡る大学心療内科・精神科における多岐に渡る臨床経験や研究を積み重ねてきた。さらに、大学病院において、精神科研修プログラムにおける研修生の教育に携わっており、現在も週に1日だけだが、精神科臨床活動を継続している。内科医・心療内科医・精神科医という多岐に渡る実務経験を活かし、授業では、人体の構造である「解剖学」と人体の機能である「生理学」の学習を通して、正常人体の「しくみ」を理解し、病気の成り立ちである「病理学」の理解までを視野に入れて行う「人体の構造と機能及び疾病」について解説を行う。	
溝部 宏二	教授	恵愛会福間病院における医師業務 等	精神疾患とその治療	2	担当者は、大学医学部において医師免許を取得、卒業後に医学部研究科生を経て、医学博士号を取得、修了した。その後、医学部学生への教育に就き、研修医へのスーパービジョンにも取り組んだ。また、臨床心理学部大学院生への実習指導等の実務もこなし、10年間に渡る大学心療内科・精神科における多岐に渡る臨床経験や研究を積み重ねてきた。さらに、大学病院において、精神科研修プログラムにおける研修生の教育に携わっており、現在も週に1日だけだが、精神科臨床活動を継続している。このような実務経験を活かし、授業では、「医学」の一分野である精神医学における「精神疾患とその治療」の講義では、「科学的基礎概念」を十分講義した上で「疾患」について解説を行う。	
駿地 眞由美	准教授	京都市スクールカウンセラー業務、ふてんま医院心理カウンセラー等	子ども学	2	担当者は、臨床心理士および公認心理師の資格を有し、これまで病院や学校等、種々の臨床現場で心理支援を行ってきました。スクールカウンセリングや、不登校児童・保護者への心理支援、発達検査・発達相談にも長年従事しており、そうした実践経験および研究活動を活かし、発達心理学や臨床心理学など様々な心理学の知見から、子どもの心の成長・発達について解説します。	
中鹿 彰	教授	京都市児童福祉センターにおける心理判定員等	障害者・障害児心理学	2	担当者は、福祉施設(児童相談所、知的障害者厚生相談所、児童心理治療施設)に長年勤務し、施設での非常に豊富な経験を持ち、その実務経験に基づいて論理立てた研究を行ってきた。特に、発達障害児、発達障害者に対する支援方法においても、単にカウンセリングだけに留まらず、長年に渡り遊戯療法、SST等を取り入れる事に携わってきた。その実務経験を活かし、授業においては、知的障害を含む発達障害全般、さらには身体障害、精神障害についての支援方法の解説を行う。	

中鹿 彰	教授	京都市児童福祉センターにおける心理判定員等	心理的アセスメント	2	担当者は、福祉施設(児童相談所、知的障害者更生相談所、児童心理治療施設)に長年勤務し、福祉現場での非常に豊富な経験を持ち、その実務経験に基づいて論理立てた研究を行ってきた。特に、発達障害児、発達障害者に対する支援方法においても、単にカウンセリングだけに留まらず、長年に渡り遊戯療法、SST等を取、り入れる事に携わってきた。その実務経験を活かして、授業においても、心理的アセスメントの中心である面接、観察知能検査、性格検査等様々な技法について解説を行う。	
中村 このゆ	教授	国立京都病院における心理査定・心理面接業務等	健康・医療心理学	2	担当者は、大学を卒業後、長年、心理療法師、カウンセラー等の心理臨床の実務を経験してきた。その後、大学院に入学し、博士号を取得し、大学院修了後は、大学で教鞭をとってきた。このような臨床心理士の長年に渡る実務経験を活かして、授業においては、私たちを取り巻く、学校、職場、家庭などの生活環境で起こりうる心身・適応上の問題と対処法について臨床試験に基づいて解説を行う。	
中村 このゆ	教授	国立京都病院における心理査定・心理面接業務等	臨床心理学概論A	2	担当者は、大学を卒業後、長年、心理療法師、カウンセラー等の心理臨床の実務を経験してきた。その後、大学院に入学し、博士号を取得し、大学院修了後は、大学で教鞭をとってきた。このような臨床心理士の長年に渡る実務経験を活かして、授業においては、臨床心理学の基礎的理論(発達心理学、精神分析、分析心理学、人間学派、学習理論)について臨床試験に基づいて解説を行う。	
辻 潔	准教授	市立川西病院における心理面接及び心理査定業務等	心理療法演習7	2	担当者が、長年、臨床心理士として行ってきた臨床実践の実務経験を通して体得したクライアント理解のために必要な視点及び立場から、授業では、受講者が心理臨床実践を行うための基礎的な能力を養成するために開発された様々なグループワークを体験し、心理臨床実践はどのようなことをしようとしているのか、その困難なども含めて体験的に学び、正しい知識と実感を深めることを狙いに実習を進めて行く。	
辻 潔	准教授	市立川西病院における心理面接及び心理査定業務等	遊戯療法論	2	担当者が、長年、臨床心理士として行ってきた臨床実践の実務経験を通して体得したクライアント理解のために必要な視点及び立場から、授業では、受講生がプレイセラピーとはどのようなものであるのかを理解しやすいように出来る限り具体的なところから順に積み上げて、その本質的な理解に近づけるように解説を行う。	
馬場 天信	教授	同志社中学校 スクールカウンセラー業務等	心理学的支援法	2	担当者は、これまでの医療・教育領域での実務経験に合わせて、現在も継続している私設開業臨床での実務経験において、心理臨床家としての高い実践能力のもと、臨床実践と実証研究を有機的に連携するという臨床心理学研究の望ましい形の研究という観点から、授業において、臨床心理学の心理的支援に関する理論と技法について「幅広く、深く」理解出来るように解説を行う。	
馬場 天信	教授	同志社中学校 スクールカウンセラー業務等	精神分析学	2	担当者は、これまでの医療・教育領域での実務経験に合わせて、現在も継続している私設開業臨床での実務経験において、心理臨床家としての高い実践能力のもと、臨床実践と実証研究を有機的に連携するという臨床心理学研究の望ましい形の研究という観点から、授業においては、古典的な精神分析の基礎知識、発達理論、そして現代における精神分析の諸学派の理論的特徴について解説を行う。	
櫻井 鼓	准教授	警察本部における資質鑑別専門員や相談専門員としての業務	司法・犯罪心理学	2	担当者は、臨床心理士、公認心理師の資格を有し、これまで警察での臨床現場におけるカウンセリング及び研究や、関係機関(警察、検察庁、児童相談所等)における講演や講義といった活動を行ってきました。こういった実践経験および研究活動を活かし、犯罪心理学や非行臨床心理学、トラウマなど様々な心理学の知見から、犯罪心理学の基本的な内容や各犯罪の概要と実際の援助に際しての基礎的知識等について解説します。	
宮川 裕基	講師	三重県スクールカウンセラー、三重県教育委員会リワーク支援専門員等	感情・人格心理学	2	担当者は、臨床心理士および公認心理師の資格を持ち、学校臨床において、感情やパーソナリティの問題を持つ人々への心理的支援に4年以上従事してきた。	

宮川 裕基	講師	三重県スクールカウンセラー、三重県教育委員会リワーク支援専門員 等	産業・組織心理学	2	担当者は、臨床心理士および公認心理師の資格を持ち、主に教職員を対象としたリワーク支援に3年以上従事してきた。	
-------	----	-----------------------------------	----------	---	--	--

2020年度 国際教養学部国際教養学科 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
松宮 新吾	教授	高校教員	グローバル・イシュー3:異文化と共生	2	国際理解教育を基盤とした多文化マネジメント力の育成を図る。	

2020年度 国際教養学部国際日本学科 実務経験を有する教員の担当科目

担当者	役職等	授業担当者の実務歴	科目名	単位数	実践的な教育内容	備考
湯浅 俊彦	教授	電子出版の流通にかかわる書店勤務経験	日本出版文化論	2	出版企画書の制作など、出版社の実務に沿った実践的授業を行う。	
湯浅 俊彦	教授	電子出版の流通にかかわる書店勤務経験	電子出版入門	2	電子出版の制作など、電子出版メディアの生産・流通・利用・保存に関する実践的授業を行う。	
湯浅 俊彦	教授	電子出版の流通にかかわる書店勤務経験	デジタル・ヒューマニティーズ(デジタル人文学)	2	電子出版の制作など、電子出版メディアの生産・流通・利用・保存に関する実践的授業を行う。	
高垣 伸博	教授	放送局	笑学基礎	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
高垣 伸博	教授	放送局	演芸フィールドワーク	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
高垣 伸博	教授	放送局	笑学ワークショップ	2	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
木村 未来	非常勤講師	新聞社	日本の魅力発信フィールドワーク	2	新聞や、これをもとにした資料などを使って、現代の文化の状況や潮流に目を向け、ゆかりの地を実際に歩いて調査することで学びを深めて、その魅力を他者に分かりやすい言葉、表現で説明できる力を身に付けていく。	